



認定看護師通信



2020年10月発行
Vol.31

な傷
るに
前
に

ココロール (クッション・ドレッシング) について

当院では、8月よりココロールを取り入れました。

ココロールとは何か? どのようなときに使えるか? について説明します。

ココロールは、器具の擦れや圧迫等からしっかり皮膚を守ります

薄く弾力性のある「クッション・ドレッシング」材です

ロールになっているので、自在にカット、重ね貼りも推奨されています

ココロール



サイズは幅 5cm と 10cm



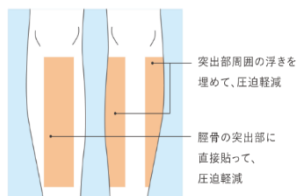
長時間貼付しても
通気がよく皮膚が浸軟しない



器具と皮膚の間に
ココロールを貼付

脚

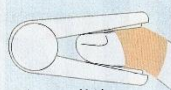
弾性ストッキングから、
突出した脛骨を守る。



突出部周囲の浮きを
埋めて、圧迫軽減
脛骨の突出部に
直接貼って、
圧迫軽減

【パルスオキシメーター】

指の第一関節部分に



クッション性が高
く、薄いので
測定可能

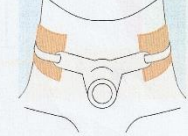
【シーネ】

末端部分の保護に



【気管切開カテーテル】

固定具のベルト部に



ロール状なので
使用する
分だけカット!



酸素マスク、カヌラ、サージカルマスク
使用時の耳介部保護



何枚重ねて使用してもOK



点滴等ロック部分の皮膚保護



PNPVマスク部分の皮膚保護、リーク予防

文責: 皮膚・排泄ケア認定看護師 松北

COVID19の影響で、今年は多くの学会がWEB開催、中には現地開催+WEB開催というハイブリット学会が主流となりました。私が参加を予定していた7月の『日本心臓リハビリテーション学術集会』、10月の『日本循環器看護学会』、『日本心不全学術集会』は、すべてがWEB開催となりました。

毎年、学会に参加すると必ず聴講したい演題の講演時間が重なっていたり、また人気で会場に入れなかったりと残念な事になる事も多々ありました。しかし、WEB開催となった結果、メリットとして、LIVE配信で聴講する事はもちろん可能ですが、期間中であれば24時間いつでも聴講することが可能という事です。自分が聴講したい演題は、すべて聴講する事ができるのです。ちょっとお得な感じがしませんか。

ただ、デメリットもあります。私の場合は、学会の時に同期のメンバーとの情報交換や意見交換が会ってできない事です。毎年、この学会期間中に全国各地で活動しているメンバーから活動内容やアドバイス、また自身のモチベーションUPにと多大な影響を与えてくれています。来年は、同期メンバーと学会々場で再会できるのを楽しみにしています。

少しだけ、学会で印象に残った事を書いていこうと思います。『循環器看護学会』の中では、「ナラティブ」のワードが多数出てきました。

「ナラティブ」とは、実際に行ってみて起こったことと、それについて思ったり対処したりしたこと。個人の「物語」「体験談」と言われています。最近、このナラティブについて考える機会がありました。

心不全患者さんにとって、『心不全』と付き合っていくという事は**自身の生活に折り合いを付けながら生活を送っていくこと**です。改めて患者さんの**生活史からその人らしさを紐解いていく事が大事である**という事を学ぶ機会となりました。

文責: 慢性心不全看護認定看護師
岩川 美子

